

小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	17	施策名	子どもの教育の充実	
小施策コード	17-5	小施策名	学校施設の整備・充実	
小施策 主管課等コード	201000	小施策 主管課等名	教育委員会総務課	
評価責任者名	渡邊 猛	内線番号	7310	
評価シート作成者名	高橋 宏英	内線番号	7311	

Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生・国語】	↑	ポイント	110.6	110.4	110.6	113.0	113.0
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生・算数】	↑	ポイント	108.4	107.4	107.0	110.0	110.0
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生・国語】	↑	ポイント	103.8	105.0	105.8	107.0	107.0
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生・数学】	↑	ポイント	102.2	101.4	102.2	105.0	105.0
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生・英語】	↑	ポイント	103.2	104.2	104.2	105.0	105.0
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生・男】	↑	ポイント	97.8	99.7	97.8	101.0	101.0
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生・女】	↑	ポイント	100.5	100.1	99.5	101.0	101.0
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生・男】	↑	ポイント	100.4	99.9	101.0	102.0	102.0
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生・女】	↑	ポイント	100.2	100.1	100.0	102.0	102.0

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

Step 2 小施策の全体像

小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり。）

対象（誰（何）を対象として行うのか）		意図（対象をどのようにしたいのか）
小中学校施設等		充実した教育環境が整備され, 良好に保たれている。
現状と課題	施設の老朽化・劣化が進んでいることから, 計画的・効率的な施設の整備や適切な維持保全による施設・設備の長寿命化を図る必要がある。 また, バリアフリー化などの教育環境の整備や災害時における地域の避難所としての機能の充実も必要となっている。	
取組の方向性	予防保全型の計画的な修繕を行うことにより, 学校施設の適切な維持管理と長寿命化の視点に立った施設・設備の保全を計画的に推進する。 また, 大規模改造を行う際は, ユニバーサルデザインの導入により安全性を確保するとともに, 災害時の地域の避難場所としての機能を確保する。	

Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
耐震化率	↑	%	79.3	96.3	100.0	100.0	100.0
校舎等大規模改造事業着手校数（累計）	↑	校	1	1	1	21	50

（↑：数値を上げていくことを目標とする指標，↓：数値を下げていくことを目標とする指標，→：数値を維持することを目標とする指標）

Step 4 市民ニーズの把握

- ・ 児童生徒等の安全を守り, 安心して機能的かつ豊かな教育環境を確保するため, 施設の老朽化対策・長寿命化を図るとともに, 教育内容の変化や環境との共生, バリアフリー化, 教育の情報化, トイレ環境の改善など様々な社会的要請や, 地球温暖化等の自然的要因を踏まえた教育環境の質的向上が求められている。
- ・ 災害時の地域の避難場所としての役割を果たすため, 防災機能の強化が求められている。

Step 5 役割分担分析

1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担 比率（％）
各主体の 役割の状況	市	計画的に学校の建築物の改修等を行い，教育環境の整備を図る。	85
	国・県・ 他自治体	改修等に要する経費の一部を負担することにより，教育環境の整備を促進し，教育の円滑な実施を確保する。	15
	市民・ NPO		
	企業・ その他		

2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- ☐ 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
☒ 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
☐ 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

地方公共団体は，学校教育法第5条の規定により，公立学校の管理及び経費を負担しなければならない。また，国は，地方公共団体の計画する事業が実施できるよう，事業の実施に要する経費の一部を負担することにより，学校の施設整備を促進し，教育の円滑な実施を確保する必要があるため。

Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

- ・ 長寿命化工事の対象箇所
財政部で策定した「長寿命化工事実施マニュアル」に基づき，建築工事（屋根，外壁，内壁，建具，断熱材），電気設備工事（器具・機器類の交換等），機械設備工事（器具・機器類，配管類の交換）に係る対象箇所について，事業費を精査する。
- ・ 他用途施設との複合化
児童福祉施設との複合化に当たっては，運営主体，管理方法，費用負担のあり方，適正規模及び仕様などを関係部署と協議するほか，関係法令（建築基準法，消防法）を確認する。
- ・ 非構造部材の工法
先進事例や新たな工法を検討し，より安全かつ経済的な工法を採用する。

2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済, B：平成29年度に着手(予定含む), C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組(予定)内容	状況
長寿命化工事の対象箇所	平成29年度に実施している基本設計で事業費の精査を行う。	B
他用途施設との複合化	平成28年度は、関係課と協議を行い、29年度に実施している基本設計で関係法令等の詳細を確認するほか、運営主体や管理方法等を決定する。	A
非構造部材の工法	平成28年度は、工法の絞込みを行うことを目的とし、他都市の先進事例を視察した。	A

3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

Step 7 成果・問題点の把握

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 小施策の中で成果をあげた点

耐震指標Is値が0.7を下回った施設について、耐震補強工事及び改築を行ったことにより、耐震化率100%を達成し、安全で安心な教育環境を確保した。

(2) 成果をあげた要因

学校施設の耐震化を早急に確保する必要性から、地方公共団体に対する国の財政支援措置を大幅に拡充した「地震防災対策特別措置法」の施行に伴い、耐震補強工事における国の補助率の特例が設けられ、市の財政負担が大幅に軽減されたため。

(3) さらなる成果向上に向けた課題(課題がある場合に記載)

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 小施策における現状の問題点

今後の学校施設整備は、老朽化施設の長寿命化対策が中心となることから、「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」と整合を図りながら推進する必要がある。

また、児童生徒等の安全確保、防災機能強化の観点から、非構造部材の耐震化についても、「盛岡市立小中学校非構造部材耐震化計画」に基づき着実に進めていく必要がある。

(2) 現状の問題点が生じている原因

少子高齢・人口減少時代の本格的な到来により、税収の減少等が予想される中、限られた財源を効果的に活用し、効率的な施設運営を行う必要がある。

このような中、市では、計画的な保全の実施と施設の長寿命化を図り、次世代に大きな負担を強いることなく、「公共施設の保有の最適化」を推進し、持続可能な市民サービスの提供を目指す必要が生じている。

(3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

- ・ 長寿命化工事の対象箇所や非構造部材耐震化の工法等については、技術的妥当性及び費用対効果の観点から検討する。
- ・ 地域に開かれた公共施設としての機能を拡充する観点から、他用途施設との複合化について関係部署、関係団体等との合意形成を図る。

Step 8 小施策と構成事業の関係性

1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

2 1で記載した事業についてその理由

3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

Step 9 Step7, 8を踏まえた改革改善案

- ・ 長寿命化工事の対象箇所
財政部で策定した「長寿命化工事実施マニュアル」に基づき、関係部署と緊密な調整を行い、建築工事（屋根、外壁、内壁、建具、断熱材）、電気設備工事（器具・機器類の交換等）、機械設備工事（器具・機器類、配管類の交換）に係る対象箇所について、事業費の精査を行い、限られた財源を効果的に活用し、将来にわたって様々なニーズに対応できる施設整備とする。
- ・ 他用途施設との複合化
「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」と整合を図るため、施設の複合化が円滑に進むよう関係部署、関係団体等と緊密な調整を行う。
- ・ 非構造部材の工法
先進事例や新たな工法を検討し、より安全かつ経済的な工法を採用する。